

平成24年度 置賜マイクロ・ナノバイオフィォーラム

微生物反応を利用した産業創出

～生命・化学・産業～

日時 平成25年 **3月29日** (金) 開場12:00～
開演13:00～

場所 伝国の杜・置賜文化ホール
山形県米沢市丸の内1-2-1 TEL:0238-26-2666



はじめに 13:00～13:05 飯塚 博 (山形大学工学部長・山形大学国際事業化研究センター長)

拠点紹介 13:05～13:15

「微生物による知と産の創造と持続的発展」

原 富次郎 (山形大学産学連携教授)

特別講演 13:15～13:55

「微生物と資材を組み合わせたPOPs汚染土壌のバイオレメディエーション」

高木 和広 (農業環境技術研究所有機化学物質研究領域上席研究員)

招待講演 13:55～14:35

「これからの産業活動と環境対策について」

實國 慎一 (経済産業省 産業技術環境局環境指導室長)

一般講演 14:35～15:15

「微生物によるポリ塩化ビフェニル類の無害化」

高塚由美子 (山形大学大学院理工学研究科特別研究員)

「マイクロバブルの機能と応用」

幕田 寿典 (山形大学大学院理工学研究科助教)

企業講演 15:15～15:35

「枯渇する水資源と水再生システム」

内田 誠 (三菱レイヨン(株)アクア事業部長)

特別講演 15:45～16:25

「酵母を利用した健康科学への挑戦」

井上 善晴 (京都大学大学院農学研究科准教授)

企業講演 16:25～17:25

「京都・伏見の酒造りと微生物の関与」

若井 芳則 (黄桜(株)専務取締役)

「病原菌としての大腸菌(特に腸管出血性大腸菌)」

佐藤 寿夫 (株)日本微生物研究所常務取締役)

「植物工場と次世代アグリビジネスの展望」

山口 祥司 (株)地球快適化インスティテュートチーフアナリスト)

おわりに 17:25～17:30

新國 時生 (山形大学客員教授)

※当日は小会議室で企業によるブース展示を行います。

●(株)アルプスビジネスクリエーション福島
(有機栽培トマト)

●(有)新東物産
(微生物土壌改良材(山形県リサイクル認定製品))

(以上予定)

主催／国立大学法人山形大学

共催／アプリザイム(株)・(株)タカハタ電子・KYB(株)・黄桜(株)・(株)日本微生物研究所・(株)三菱ケミカルホールディングス・三菱レイヨン(株)

後援／経済産業省・山形県置賜総合支庁・米沢市・山形銀行・荘内銀行・きらやか銀行・米沢信用金庫・山形新聞・山形放送

※このフォーラムは、山形県置賜総合支庁「次世代産業技術に関する先端的研究の普及啓発事業」プロジェクトの支援を受けて開催いたします。

本セミナーに関するお問い合わせはこちらまで

山形大学大学院理工学研究科 バイオ化学工学専攻 原研究室 東 怜鹿・山田 梢

TEL:0238-26-3387 FAX:0238-26-3387 E-mail: east@yz.yamagata-u.ac.jp

※この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

平成24年度 置賜マイクロ・ナノバイオフィォーラム 微生物反応を利用した産業創出～生命・化学・産業～



じつくに
實國 慎一 氏

経済産業省産業技術環境局環境指導室長

概要

これまでの産業活動を巡る環境問題とその対応の変遷を概観し、その上で、今後、産業活動に起因する環境上の課題に我々はどうのように取り組むべきかを紹介する。

プロフィール

平成5年、東京大学大学院工学系研究科修士課程修了。平成5年、経済産業省入省、競争政策、電力市場改革、地域政策等の業務に従事後、平成19年、北海道経済産業局総務課長。平成21年、製造産業局化学物質安全室長を経て、平成24年から産業技術環境局環境指導室長。



たかぎ
高木 和広 氏

農業環境技術研究所有機化学物質研究領域上席研究員

概要

難分解性有機汚染物質（POPs）の中で環状ジエン系殺虫剤のディルドリンとヘキサシクロシクロヘキサンを中心に、新規分解菌とその分解代謝経路について最新の研究成果を発表する。さらに、これら分解菌を用いた汚染土壌のバイオレメディエーション技術についても紹介する。

プロフィール

平成3年3月、東京大学農学系大学院農芸化学専攻博士課程修了農学博士。平成3～5年EC（現EU：ヨーロッパ連合）博士研究員として独バイエル植物防疫中央研究所勤務。同5年10月、農林水産省農業環境技術研究所研究員。同8年4月、同所資材動態部主任研究官。同12年4月、東京農業大学非常勤講師（土壌微生物学担当）併任。同13年4月、独）農業環境技術研究所化学環境部有機化学物質研究グループ主任研究員。同16年4月、東京農業大学連携大学院助教授（農芸化学専攻応用微生物学担当）併任。同19年4月、東京農業大学連携大学院教授（農芸化学専攻応用微生物学担当）併任。同24年4月、独）農業環境技術研究所有機化学物質研究領域上席研究員、現在に至る。



いのうえ
井上 善晴 氏

京都大学大学院農学研究科准教授

概要

酵母は、古くから酒類やパンの製造などに用いられてきた。一方、酵母は高等真核生物のモデル生物として、これまでに生物学的に重要なさまざまな現象のメカニズムの解明にも貢献している。われわれは、酵母の代謝ストレス応答機構の研究を通じて得られた新たな知見を基礎として、糖尿病の発症や増悪の病態モデルを、酵母を用いて構築することにチャレンジしている。本講演では、酵母の健康科学領域への応用に向けた新しい可能性について紹介する。

プロフィール

昭和60年、京都大学農学部食品工学科卒業。昭和62年、同大学院修士課程修了。昭和63年、同大学院博士後期課程中退。昭和63年、京都大学助手（食糧科学研究所）。平成6年～7年、アメリカカリフォルニア州立大学バークレー校、ならびにアメリカ国立衛生研究所留学。平成7年、京都大学助教授（食糧科学研究所）。平成13年、京都大学大学院農学研究科に配置替え（食糧科学研究所改組のため）。

申込締切：平成25年3月19日の必着

参加申し込み書（このままFAXして下さい）

FAX:0238-26-3387

連絡先等ご記入ください。

名前	
所属	
住所	
電話番号	
メールアドレス	

お問合わせ先*山形大学大学院理工学研究科 バイオ化学工学専攻 原研究室 東 怜鹿 山田 梢
TEL:0238-26-3387 FAX:0238-26-3387 E-mail: east@yz.yamagata-u.ac.jp